

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第63号 (令和7年3月24日)

笑顔で堂々と巣立っていきました



3月19日(水)、令和6年度卒業証書授与式を行いました。

卒業証書授与



どの人も、担任の先生の呼名に対し、大きな声で返事ができました。また私とも壇上でしっかりと目が合い、「おめでとう」の言葉に対し「ありがとうございます」ときちんと返事をしてくれました。とても嬉しかったです。

どの人も緊張しながらも「6年間、しっかりと頑張ってきた」という自信が感じられる表情・姿勢・声でした。「6年間、よく頑張りました」という労いと「4月からの中学校生活、そして、その先の生活を頑張れ！」というエールを込めて、卒業証書を渡しました。

はなむけの言葉・お祝いの言葉



私からは、卒業生のみなさんが、最初は一人一人がただ教室にいるだけの【集合】だったかもしれませんが、様々な活動を通して、今では互いを理解し、認め合い、支え合う【集団】になっていること、「これぞ最高学年」と呼べる姿勢が下級生のお手本となってくれたこと、そして中学生・その先で大切になる「**一步前に**」について話しました。

また今年度は、玉野市教育委員会教育次長 様、玉野市議会議員 様に来賓として来ていただきました。

そして来賓の方々を代表して、 様よりお祝いの言葉をいただきました。その中で、「優しさや思いやりの気持ちを大切に、周りの人のことを考える心豊かな人に」「自分の夢や目標をもち、その実現に向けて努力し続ける人に」「自分自身を、そして命を大切にして、広く社会に貢献できる人に」という【卒業生になって欲しい姿】をはなむけの言葉として、いただきました。

門出の言葉



卒業生が小学校6年間の総括やおうちの方々、先生たち、在校生に向けての感謝の気持ちを述べてくれました。

小学校6年間の総括では、印象に残ったできごとを1年生から話してくれました。

私が卒業生のみなさんと過ごしたのは4年生からの3年間です。4年生の時のクラIPPINGファンタジーや5年生での海事研修など「そうだったなあ」と聴きながら思い出されました。

6年生での修学旅行のことが出てくると「最高の思い出、修学旅行」と話してくれました。みなさんと行った修学旅行の光景も思い出されました。

また、おうちの方のみならず、先生たちにも感謝の気持ちを伝えてくれてありがたかったです。

5年生も立派でした



5年生は前日の会場設営・6年生教室の飾りつけ等、最後までていねいに行ってくれました。また当日も態度・姿勢、門出の言葉の呼びかけ等、とても素晴らしかったです。

卒業生のあとを引き継いで、“学校の顔”になるのにふさわしい姿でした。「最上級生としてのみなさんに大いに期待できる」と思いました。

4月からしっかりがんばりましょう！

式には出ないけれど…

1～4年生は式の前日に掃除をしたり、卒業生に向けてのお祝いメッセージを掲示したりしました。また卒業生が通る体育館までの道に皆さんが育てた花があり、とても華やかになりました。式に出た5年生はもちろん、式には出なかった1～4年生も含め、在校生全員で卒業生の門出をお祝いできました。みなさんご苦労様でした。



**卒業
おめでとう！
幸せな
人生を！**